

令和 6 年度第 1 回 立川市公契約条例検討委員会 会議概要

開催日時	令和6年9月30日（月）午前10時00分～午前11時31分
開催場所	立川市役所 101会議室
次第	1. 市長あいさつ 2. 辞令交付 3. 自己紹介 4. 議事 (1) 委員長・副委員長選出 (2) 立川市における入札・契約制度改革等の取組（報告） (3) 公契約条例の方針について（報告） 5. その他
配布資料	・ 立川市公契約条例検討委員会設置要綱 ・ 立川市公契約条例検討委員会委員名簿 ・ 資料1：立川市における入札・契約制度改革等の取組 （画像による説明のため配布なし） ・ 資料2：公契約条例の方針について
出席者	[委員] 森井利和, 木村辰幸, 中村知義, 松浦孝治, 小笠原一樹 [事務局] 酒井大史(市長), 大平武彦(行政管理部長), 岡本珠緒(契約課長), 今井修(契約係長), 岡田幸子(品質管理課長), 小田川政輝(品質管理係長), 武田智子(品質管理係)
公開・非公開	公開
傍聴者数	5人
委員からの意見、質問及びそれに対する回答	
意見・質問	回 答
1. 市長あいさつ	
2. 辞令交付	
3. 自己紹介	
4. 議事 (1) 委員長・副委員長選出	・ 森井利和 委員長、木村辰幸 副委員長を選出した。
(2) 立川市における入札・契約制度改革等の取組（報告）	・ 立川市における入札・契約制度改革等の取組の報告を受けた。

* 一般競争入札、競争見積合わせのうち委託・リースで準備行為となっているのはどういうことか。 (3) 公契約条例の方針について（報告） * 市内業者のアンケートの発送基準は。 * 公契約条例（ILO 型）にする目的は。 * 労働者の賃金の把握はどのようにしているのか。 * ILO 型は国際的な流れになっている。企業側の危機感と公契約条例が接点をもっていくのが大切。 * 違反している事業者を排除する方向ではなく、指導的な側面も入ってくる。 5. その他	・準備行為は 4 月以降の業務のために 2～3 月に行う見積合わせのこと。 ・資料 2 に基づき公契約条例の方針について報告を受けた。 ・市内本店で立川市の競争入札資格参加登録している事業者全体。約 240 社。 ・ILO 型は労働者の賃金を含む内容であり、都内 15 自治体が ILO 型である。また市長の公約でもある。 ・予定価格内で担保はされているが、人件費が守られているかの調査はしていない。 ・事務量の不安はある。サンプル調査にするなど、次回以降検討いただきたい。 ・市長は条例にすることで、議会で議論し、議会が承認するという事に思いがある。働く人の賃金を守っていくことを対応していきたい。 ・賃金のことについては審議会を立ち上げ実効性のあるチェックをしていきたい。 ・次回の開催は令和 6 年 10 月 24 日（木）午前 10 時
---	---